公　　債　　費	計画どおり償還を行うとともに、地方債償還や北海道市町村振興基金貸付金償還のための減債基金への積立を実施。
他会計繰出金	経営改善や収入の適正化等の取組状況を踏まえ、計画に基づく繰出しを実施。

※当該年度までの累積実績額：22,974百万円）
（うち一般財源相当額：20,978百万円）

⑵　地方税その他の収入の増徴に関する状況
計画どおり合理的な計画徴収に努めた結果、市営住宅使用料の徴収率が向上した。

※当該年度までの累積実績額：295百万円）
（うち一般財源相当額：295百万円）

⑶　地方税その他の収入で滞納に係るものの徴収に関する状況
滞納繰越の発生を抑制するため、現年分の滞納者への対応を重視し、本人との折衝の機会を増やし速やかな納付相談の実施に努めるとともに、生活実態を把握し滞納原因の解消に繋げるため、ファイナンシャルプランナーによる無料相談を実施し、納税意識の改善を図るなど、適正で効率的な滞納整理に努め、督促に応じない悪質滞納者には法的措置を執行した。

※当該年度までの累積実績額：64百万円）
（うち一般財源相当額：64百万円）

⑷　使用料等の変更、財産の処分その他の歳入の増加に関する状況
使用料及び手数料は、平成19年度に実施した引き上げなどの見直しに基づき、引き続き収入確保に努めた。
また、観光施設等の売却及び平成27年度から開始した高松ズリ山のズリ売却事業を継続しているほか、金融機関店舗への市庁舎の有償貸与などにより収入確保を図った。

※当該年度までの累積実績額：527百万円）
（うち一般財源相当額：11百万円）

⑸　超過課税又は法定外普通税による地方税の増収に関する状況
法令上の上限の税率などを踏まえ平成19年度に行った見直しを継続して実施した。

※当該年度までの累積実績額：415百万円）
（うち一般財源相当額：415百万円）

2　実質赤字解消の状況
第２参照
3　財政再生年次総合計画
第３参照
4　連結実質赤字解消の状況等
第４参照
5　再生振替特例債の償還の状況
第５参照
6　健全化判断比率の状況
第６参照
7　その他財政の再生に必要な事項の措置の状況
財政再生計画の策定後に生じた新たな諸課題に対応するため、事務事業の必要性や緊急性などを十分検討した上で、財源確保を図りながら、平成28年度は計５回の計画変更を行った。

第２　実質赤字解消の状況

（単位：千円）

区分＼年度	計画初年度の前年度	計画初年度（平成21年度）	平成22年度（第２年度）	平成23年度（第３年度）	平成24年度（第４年度）	平成25年度（第５年度）	平成26年度（第６年度）	平成27年度（第７年度）	平成28年度（第８年度）	平成38年度（第18年度）	平成41年度（第21年度）
当初計画　A		32,199,466	0	0	0	0	0	0	0	0	0
解消実績額　B		32,624,183									